

●第32回院外糖尿病教室開催
(令和元年11月14日)

毎年11月の全国糖尿病週間に合わせて開催しているもので、今年で32回目となります。当日は45名の参加があり、医師・薬剤師・管理栄養士による健康相談や食事指導、血圧・血糖・体脂肪率測定などを行いました。



●地域で認知症を学ぶ会
(令和元年9月28日)

当院スタッフの講座を行い、認知症の基本知識をはじめ、具体的な対応策や認知症予防体操などについて地域の皆さまと共有する良い機会となりました。



●第5回介護支援専門員交流会
(令和元年10月18日)

北端宏規副院長による睡眠時無呼吸症候群の診療』というテーマで講演を行いました。介護支援専門員の方々に知識を深めて頂く事ができ、大変有意義な時間となりました。



新入職員紹介

はやし たかひさ
林 貴久
放射線科
診療放射線技師
(入職日 令和元年5月1日)



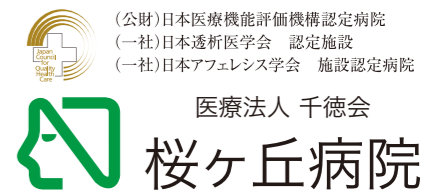
自宅のある御坊市から車通勤していますが、海の景色を見ながら走ってくると仕事前に少しリフレッシュでき嬉しいものです。今後ともよろしくお願ひ致します。

はしなか みかこ
橋中 美佳子
医事課
事務員
(入職日 令和元年9月17日)



経験のない業界で覚える事もたくさんあり不安ではありませんが、優しく丁寧に教えて下さる先輩方のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

さくら通信



第42号
2020.1

明けましておめでとうございます。
謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。



医療法人社団 千徳会
理事長 成川 暢彦
院長

昨年元号が令和に変わるという、時代の節目となる年でした。その一方で、「50年に一度」とされる災害が、一昨年の西日本豪雨に続き、台風19号によって、東日本にも起きました。

日本は地理的な特性から、自然災害が頻発する国と言われてはいますが、今年は、過去に経験のない災害がしばしば起こっています。

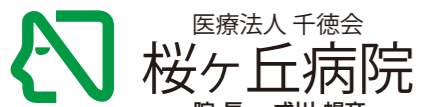
和歌山県においては、極めて近い将来、東南海地震の発生が予測されています。

こうしたなか、医療の分野では、「災害医療」への取り組みが進められています。

「DMAT」や「JMAT」をはじめ、様々な医療支援ネットワークの構築や国・県を始めとする行政の災害対策の検討が行われています。

当院においても、定期的に災害時訓練など災害対策を行うことにより、災害発生時には、最善の災害医療を提供できるように心がけています。

これからも地域医療に貢献することにより地域の皆様と共に歩んでまいります。どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。



医療法人 千徳会
院長 成川 暢彦

〒649-0304 和歌山県有田市箕島904
TEL : 0737(83)0078 FAX : 0737(83)0079
E-mail : sakura_2007@cherry-hill.or.jp
http://www.cherry-hill.or.jp

- 地域連携室 TEL 0737(83)0829
- 診療科目等
- 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・脂質代謝)
腎臓内科(人工透析)・脳神経内科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・各種健診・人間ドック
- 入院許可ベッド数 99床
一般病床:49床(特殊疾患棟入院料1) 医療療養病床:50床(療養病棟入院基本料1)
- 腎センターベッド数37床(最大受入患者数114名) 《夜間透析実施中》

- 医療法人千徳会
- 本部 〒649-0304 和歌山県有田市箕島904
電話 0737-83-0881 FAX 0737-83-0079
- さくら訪問看護ステーション 〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1
電話 0737-83-0077 FAX 0737-83-0079



千徳会 理念と基本方針

- 千徳会理念
- 1. 信頼される医療
- 2. 安心・安全の医療
- 3. 慈愛あふれる医療
- 基本方針
- 1. 思いやり(相手の立場になり考える)
- 2. 感受性を豊に(小さなことにも感動を)
- 3. 創造性(常にチャレンジ)
- 4. 合理性(道理に適い能率的に)
- 5. 自己研鑽(常に学習を)
- 経営理念
- 「職場は、職員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である」
- 「我々は最大の病院になることを望まず、最良の病院になることを望む」

- 社会福祉法人守協会 http://www.shukohkai.or.jp
- 特別養護老人ホーム田鶴苑(介護老人福祉施設:短期入所事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町911 電話 0737-82-6644 FAX 0737-82-6609
- デイサービスセンター田鶴苑(通所介護事業)
- 訪問介護田鶴苑(訪問介護事業)
- 有田市在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)
- 特別養護老人ホーム愛宕苑(介護老人福祉施設:短期入所事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1 電話 0737-82-0600 FAX 0737-82-0606
- デイサービスセンター愛宕苑(通所介護事業)
- ケアハウス愛宕苑(地域密着型特定施設入居者生活介護事業)
- グループホーム愛宕苑(認知症対応型共同生活介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1 電話 0737-23-7177 FAX 0737-83-5501
- 特別養護老人ホームありだ橋苑(介護老人福祉施設:短期入所事業)
〒649-0314 和歌山県有田市野639-2 電話 0737-83-6255 FAX 0737-83-6260
- デイサービスセンターありだ橋苑(通所介護事業)
- 養護老人ホーム長寿荘(養護老人ホーム)
〒649-0315 和歌山県有田市山地57 電話 0737-82-2946 FAX 0737-83-2640

脳神経内科について

和歌山県立医科大学 脳神経内科
学内助教 中山 宜昭(なかやま よしあき) 医師



脳神経内科は、脳や脊髄、神経、筋肉の疾患を治療しています。具体的には、認知症、神経難病(パーキンソン病およびその類縁疾患、ALS、脊髄小脳変性症など)、てんかん、末梢神経障害、重症筋無力症、筋炎、筋ジストロフィー、髄膜炎・脳炎、頭痛疾患などの疾患を、症状としては身体の脱力、ふらつき、動作緩慢、ふるえ、しびれ、けいれん、物忘れ、意識障害などでお困りの方を診療しています。以前は「神経内科」と標榜しておりましたが、神経精神科と混同される患者さんも多かったため、2018年より全国的に「脳神経内科」へと標榜診療科名を変更しています。

神経難病というと「非常に稀な病気」というイメージがあるかと思いますが、代表疾患であるパーキンソン病についていうと、65歳以上の方では100人に1人程度の有病率があるのではないとも言われています。そのため認知症と同様に、今後の高齢者社会で患者数の大幅な増加が予想されています。神経難病患者さんの療養においては、患者さん一人一人に合わせた薬剤調整に加えて、リハビリの継続、もしもの時の入院受け入れなどのサポートが重要となります。当院では以前より、通院・訪問リハビリおよび訪問看護の提供、体調悪化時の入院受け入れを行っております(長期入院可能な療養病床もあり)。また指定難病の患者さんには医療費助成の申請を勧めており、なるべく軽い経済的負担でこれらのサービスを受けて頂けるよう心掛けております。

当院での外来は週2回ですが、和歌山県立医科大学脳神経内科と連携しており、大学での精査・治療が必要な場合は速やかに大学での受診につなげさせて頂くことが可能です。

脳神経内科疾患を疑う患者さんがいらっしゃったり、患者さんの療養でお困りのことなどございましたら、是非一度ご紹介頂けますと幸いです。

災害に対する当院での取り組み ～防災避難訓練について～

(令和元年11月28日)

当院では年2回、有田市消防署立ち合いのもと、防災避難訓練を実施しています。今回は透析中に震度5の地震が発生したことによる停電と、30分後に津波が到着するという設定で、透析を離脱しての避難訓練を行いました。緊急離脱への対応や避難経路の確認など、いざという時に適切な行動ができるよう、各職種が様々な場面を想定し訓練に取り組みました。また、院内の消火ホースを実際に使った放水訓練も行いました。

今後発生が懸念される大規模災害に備え、スタッフ一同、防災意識を高めていきたいと思っております。



令和元年度和歌山県ナース章受章

副院長 兼 総看護師長 濱 真理子 (令和元年11月20日)

和歌山県内の医療機関や保健所などに勤め、長年業務に励んだ看護師や保健師、助産師などを表彰する和歌山県ナース章の表彰式が和歌山県庁で開催され、当院の濱真理子副院長兼総看護師長(勤続15年)が受章しました。



医師紹介

令和元年10月より水曜日午前の腎センター回診を担当しております腎臓内科医師の國本 悟子と申します。半端な時期の交代となりご迷惑をお掛けしていますが、前任大矢昌樹医師から引き続き診察させていただいております。

週3回通院しながらの血液透析という心身ともに大きな負担となる治療を受けておられる透析患者の皆様。その負担を少しでも軽減できればと日々診察にあたっております。どうぞよろしくお願いいたします。

腎臓内科

くにもと さとこ
國本 悟子 医師



プロフィール

平成23年3月 福井大学卒業
平成23年4月 和歌山県立医科大学附属病院 初期研修
平成25年4月 和歌山県立医科大学
腎臓内科学講座 学内助教
以降、3回の産育児休業を経て現在に至る

第27回日本慢性期医療学会 (令和元年12月3日・4日 於:大阪国際会議場)

当院より2名のスタッフが以下の内容で演題発表を行い、林好看看護主任が「ターミナルケア・緩和ケア・看取り」のセッションにて座長を務めました。

【演題発表】

- テーマ:「口腔ケア技術向上への取り組み
～歯科医師、歯科衛生士の介入を通じて～」
発表者: 柏田あゆみ看護副主任
- テーマ:「慢性期病院での患者に対する接し方
～人工呼吸器離脱を通じて～」
発表者: 大向利奈看護師

